

『動物介在活動』セラピー犬派遣します

1 『動物介在活動』とセラピー犬

中部農林高校発信!!2012

近年、医療・福祉の現場をはじめ、心身の“癒し”や子ども達の情操教育に、動物との関わりがもたらす効果が注目されています。このような場面で、人と動物をつなぐ活動のことを『動物介在活動』といい、セラピー犬（動物介在活動犬）とは、この活動に用いられるように訓練された犬のことをいいます。

中部農林高等学校熱帯資源科動物コースでは、愛玩動物に関する動物教材として12種26頭の犬を飼育しています。その中から、人と遊ぶのが好きで優しい性格の犬たちを訓練し、保育園や介護施設利用者へのディケア、小中学校での動物介在活動を行っています。教科「道徳」や「総合学習」などでどうですか？

2 活動の内容

(1) 保育園、介護施設、その他イベント

犬との触れ合いを中心に、セラピー犬をとおして“動物のぬくもり”を伝える実践活動。



保育園



介護施設ディケア



動物愛護週間

(2) 小・中学校

「動物をとおし生命の尊重を考える」「動物のもつすばらしい力」などといった内容を「総合学習」などの特別授業として展開。平成23年度は、小学校1校、中学校3校、高校1校において出前授業を実施。延べ500名以上の児童・生徒に対して、動物介在活動を実施。



中学校

【連絡先】

中部農林高等学校（098-973-3578）

熱帯資源科 動物介在活動チーム リーダー 玉城 佳奈恵
顧問 奥松 直樹